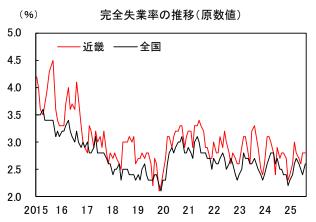
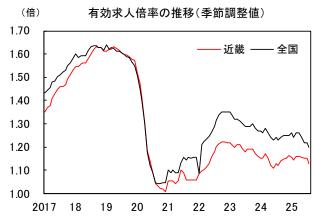
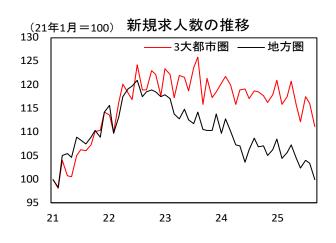


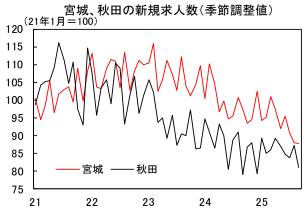
関西の景気トピックス【雇用関連(25年9月)】

- 25 年 9 月の労働力調査(総務省)によると、近畿の完全失業率は 2.7% (原数値)と、前年比で 0.1 ポイントの低下となった。前年比での低下は 2 か月ぶり。変化の内訳は、就業者数が前年比で 4 万人の増加で、失業者は 1 万人の減少、非労働力人口は 10 万人の減少となっている。
- 〇 一方、近畿の有効求人倍率(厚生労働省)は、25 年 9 月は 1.13 倍(季節調整値)と前月比で横ばいとなった。ここ半年程度の動きをみる限り、求人倍率の動きに大きな方向感は感じられない。
- 直近の雇用市場をみると、新規求人数の推移について、地方圏を中心とした減 少傾向が進んでいる。3 大都市圏と地方圏の推移をみると、その違いは顕著と いえる。人手不足の状況は、むしろ地方圏の方が深刻なはずであるが、中小企 業の厳しい収益状況を反映した動きとみられる。
- 特に、今後は最低賃金の引き上げが始まる中、今年度は特に引上げ規模が大き いだけに、その影響にも注意が必要とみられる。









本件照会先:大阪本社 荒木秀之 TEL:06(4705)3635 mail:hd-araki@rri.co.jp